

図書館通信 12月

教室掲示用

2024.12土浦湖北高校図書館

図書館からの
メッセージ

今年の冬至は12月21日(土)です。一年で最も、夜が長くなる日です。冬至にはかぼちゃを食べたり、ゆず湯に入ったりする風習があります。栄養を取って、体を温めて、厳しい冬に備えましょう。



～本に纏わる言葉～

本は人に貸してはならない。貸せば戻ってこないからだ。私の書斎に残っている本といったら、そうやって人から借りたものばかりだ。

～アナトール・フランス～

図書館からのお知らせ

12月13日(金)図書委員中央研修会が行われ、本校図書委員4名が参加しました。全体会では、読書感想文最優秀作品の朗読が行われました。午後の分科会では、他校の生徒とお互いにおすすめ本の紹介をしあったり、ビブリオバトル茨城県決勝大会を見学したり、有意義な一日になりました。

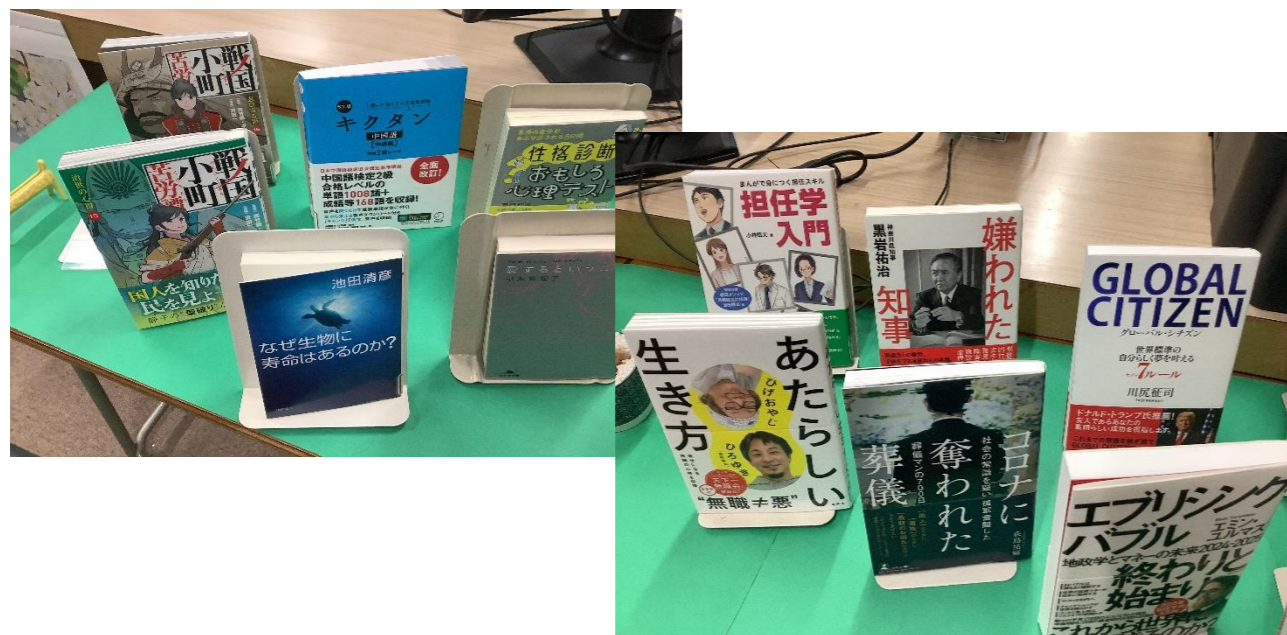


第70回青少年読書感想文コンクール
茨城県最優秀賞「追悼の道」
『人質の朗読会～「槍投げの青年」～』(中央公論新社)



新着本紹介

リクエスト本など多数入っています。ぜひ新着本コーナーを覗いてみてください。



図書委員のすすめる一冊

香坂茉莉『ヒロイン育成計画』(角川ビーンズ文庫)

「ヒロイン育成計画」は高校一年生の涼海ひよりが LIP×LIP のマネージャーとして喧嘩しながらでも二人を支えている。ある日、LIP×LIP のライブ会場で助けてくれた人に一目惚れする!そのことが LIP×LIP にバレてしまう!!けど2人はひよりのことを可愛くさせると言って...

そこから始まる、ひよりの恋愛模様。恋も部活もバイトも全力なひよりをしていると、自分も頑張ろうと思えてまたとてもキュンキュンします!!!!!!

最後には怪しい匂わせもあったりして...是非読んでみてください!



住野よる『よるのばけもの』(双葉社)



「よるのばけもの」は、みんなに合わせて生きるという日本人ならではの考えが書かれていて、少し複雑な気持ちになりました。

でも最後には自分の正義を貫き通したことによって仲間はずれにされてしまうという悲しい終わり方に少し悲しくなりつつ、そんな最後になるとわかっていて行動に移した主人公がかっこいいと思いました。

汐見夏衛『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら』(スターツ出版)



この本は、現代の主人公百合が戦時中の日本にタイムスリップして、特攻隊員の彰と恋に落ちる話です。すごく感動的で、初めて本を読んで涙が出そうになりました。この本を読んで、戦争について考えさせられました。現代の平和な日本に生まれている私は、戦争の恐ろしさを直接知らないけど、この本を通して戦争の悲しさや辛さを感じました。また、現代の私たちが平和に感謝すべきだと思いました。戦争中を生き残った人たちが未来を守るために命をかけたことを改めて感じる作品です。

